

2018年度 大学女性協会京都支部総会

日時 4月28日(土)
会場 ウィングス京都
司会 高橋侑子
出席者 13名

恵まれた天気となった4月28日、1年の総括として支部総会が執り行われました。

松田支部長挨拶

皆様、お集まり頂きありがとうございました。私はこの役を引き受けるにあたって2つのテーマを掲げております。1つは、「多面的な思考の出来る会を目指す」です。学生時代興味を持っておりました「木の造り」で言いますと、近くで見た際は幹の凹凸や葉の丸みに目が行きます。一方離れてみると木の全体の動きや高さが判り、更には地中を想像すると木の根が張り巡らされている。このように物事を見るときは常に多面的に深く考える事を忘れずにいたいと思っております。そして2つ目は「若い力への支援」です。奨学金事業にも表れていますが、若い力を育て助けたい。そしてその力を女性協会にもいただいて次に繋げられたらと考えております。

支部総会

総会は出席者13名 委任状17通で総会員の過半数に達し、総会は成立。松田支部長を議長とし、事業、会計報告と監査報告。事業計画及び予算案の承認が為され、その他事項も肅々と遂行。そして来年度の全国総会へ向けての報告や具体策等の議論も交わされました。

その後会場内で昼食を摂り、松田支部長のおつれあいである松田卓也氏の記念講演。最後にミニバザーを開催して閉会となりました。

記念講演「シンギュラリティと人類の未来」



松田卓也氏

1943年生まれ。宇宙物理学者・理学博士 神戸大学名誉教授
NPO 法人あいんしゅたいん副理事長
シンギュラリティサロン主催(東京と大阪にて)

著書「人類を超える AI は日本から生まれる」他多数
現在 FM 東京「フューチャーズ」(毎週火曜 5:30~6:00)に出演中

シンギュラリティとは

シンギュラリティ(技術的特異点)とは、AI(人工知能)が知的能力で人間を追い越す時。人間1人分を追い越すプレシンギュラリティが2029年。人類を圧倒的に追い越すシンギュラリティが2045年に起こると言われている。

シンギュラリティが起こる事が出てくる問題として

- ・技術的失業・・・AIに職を奪われてしまう
- ・世界の第二の大分岐・・・先進国と発展途上国に分かれる。

がある。そして人間を超えた超人類の誕生により人類史が大きく変わると言われているが、この考えには賛否両論がある。

部分的シンギュラリティ

そもそもシンギュラリティは一斉に起きるものではなく部分的なものから始まり、やがて全体に広がる。そこで特定分野でAIが人を超越する事を「部分的シンギュラリティ」と定義している。

—現在すでに起きている部分的シンギュラリティー

- 1997 IBM ディープブルー・・・チェス世界チャンピオン、カスパロフに勝利
- 2011 IBM ワトソン・・・米クイズ番組「ジェパディ」で人間を抜いて最高金額を獲得
- 2012 Google・・・独習により猫を認識するAIの開発に成功
- 2015 Google アルファ碁・・・2015年にプロ棋士相手にハンディ無しで勝利。2016年イ・セドル(世界チャンピオン)に勝利。2017年人類最強棋士と言われていた柯潔(カ・ケツ)に勝利
- 2017 Google アルファ碁ゼロ・アルファ碁に100勝
- 2017 Google アルファゼロ・・・チェス、将棋、囲碁のトップAIに勝利

人間が膨大な時間を掛けてマスターするものを数時間で成し遂げてしまうコンピューターの考える速度は1GHz(1秒に10億回)。対して人間は100Hz(1秒に100回)である。(アルファゼロは将棋2時間、チェス4時間、囲碁8時間でマスター)その圧倒的な回転の速さに勝ち目は無い。そして今後、汎用人工知能(AGI:artificial general intelligence)や人間にAIをドッキングする知能増強を目標とした開発に繋がっていく。

シンギュラリティ革命

イスラエルの歴史学者であるユヴァル・ノア・ハラリは提唱している人類史の4つの革命として、認知革命(7万年前)、農業革命(1万年前)、科学、産業革命(17~19世紀)、そして次なる革命としてシンギュラリティを位置づけている。

2029年のプレシンギュラリティではAIの台頭による技術的失業が相次ぎ、世界は第二の大分岐として先進国と発展途上国に分かれる。ここでの先進国と発展途上国とはシンギュラリティに成功する国とそうでない国を意味し、先進国が圧倒的な豊かさを得て、後進国は先進国に収奪支配される。

かつて日本は目覚ましい進歩を遂げ、後進国から先進国へと這い上がった。しかし、今後起こりうる大分岐では後進国に転落してしまうのではと危ぶまれている。

そして2045年のシンギュラリティの際には第三の大分岐、人類と超人類に分かれると

言われている。超人類とは、超知能を持ったAIを人間とドッキング(脳に直接接続)することによって生まれる新しい種。現在、それに繋がる研究も為されており、コンピューターによって脳の機能や活動を監視することが出来る電極の集合体(神経レース)を針で直接脳に注入する方法(イーロン・マスク)や、赤外透過光で頭蓋骨の中を透かして中を研究する方法(Facebook)などがある。

人類の未来

今後人類はエリート(支配階級とその周辺)と不要階級という二系分裂を起こす。今までは人間そのものに価値があった。(農民、兵士、労働者等)しかし今後はロボットとAIが代わりを務める為、人間は政治的経済的に全く無価値になる。

では将来直面する若者はどうすべきか。それは今までの20年教育、40年労働、20年リタイアの概念を捨て、常に新しい知識をインプットし、変化に対応する柔軟性を養う事である。

講演が終わってからの質疑応答では多くの質問がされ、関心の高さが窺い知れました。時代の変化は自分が考えていたより遥か先を進んでいました。コンピューター開発の世界から見たら、自分の生活はホコリを被った古文書のように・・・。子供たちの未来の為に

私達世代も古い考えは捨て去り、常に新しい知識を仕入れて導いて行かなければと身の引き締まる思いでした。